

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



ACG032-P10

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 16:15-18:45

日本における大気汚染物質常時監視データ Operational air quality monitoring data in Japan

早崎 将光^{1*}, 樋口 篤志¹, 久世宏明¹, 菅田誠治², 大原利真²

Masamitsu Hayasaki^{1*}, Atsushi Higuchi¹, Hiroaki Kuze¹, Seiji Sugata², Ohara Toshimasa²

¹ 千葉大・環境リモセン, ² 国立環境研

¹CEReS, Chiba Univ., ²NIES

日本国内では、全国 1000 局以上の測定局で大気汚染物質の 24 時間監視がおこなわれている。全国の汚染物質濃度（速報値）は、そらまめ君（環境省大気汚染物質広域監視システム・Atmospheric Environmental Regional Observation System: AEROS）にて Web 上で公開されている。千葉大学では、2009 年 4 月以後の二酸化硫黄（SO₂）、窒素酸化物（NO_x）、光化学オキシダント（O_x）、浮遊粒子状物質（Suspended particulate matter, SPM）の 1 時間間隔濃度値を用いて全国分布画像を作成し、2010 年 12 月から Web 上に公開している。

キーワード: 広域大気汚染, 常時監視

Keywords: regional-scale air pollution, operational air quality monitoring